

整理番号	20001
評価対象年度	令和3年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和2年11月19日
事業担当課	広報広聴課
担当者・内線	菖蒲、坂本・2133

《基本情報》

事務事業名	広報紙発行費 (広報紙制作支援業務)		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	H2 つながりあう地域社会をつくります		
基本施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	多様な主体同士が	お互いの強みを活かした役割分担のもと、いつでも協働の手法を使って、地域課題に取り組んでいる。	
個別施策	H2-2 市民との良好なコミュニケーションを形成します		
個別施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	市民が	いつでも、どこでも、必要な市政情報を入手できる。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	さまざまな広報媒体を通じて、市民に必要な市政情報を提供しているが、多様化するメディアの有効活用に対応できていない。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	さまざまな広報媒体を活用・連携により、市民が知りたい情報などを効果的に届ける。
課題(どういことをする必要があるのであるのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報媒体や情報収集手段が多様化するなかで、広報ながさきについても、市民の情報ニーズに則した紙面構成やデザインに見直す必要がある。</li> <li>・広報ながさきの編集は職員の業務に対する知識を深め、企画力を高める機会になっているが、業務量が多くなる傾向にある。これを改善し、より効果的な発信を行う体制を整える必要がある。</li> </ul>
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有 <b>無</b> ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有 <b>無</b> ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	<p>①広報ながさき紙面見直し(1,528千円) 市民がどのような情報を必要としているかを把握し、広報媒体の活用策を検討する。その中で、広報ながさきではだれ向けにどのような情報を発信するかなどを具体的にイメージし、それらに応じた紙面構成・デザインに見直す。またページ数についても36ページから32ページに減らし、経費の削減と、配布時の負担の軽減を行う。見直しは令和3年10月号からの予定。※現在の広報ながさきデザインは平成22年4月号から。 (概要) 情報収集手段が少なく広報紙で情報を得ている割合が大きい高齢者、情報収集手段が多様で紙媒体(広報紙を含む)をあまり手に取らない若い世代に応じた紙面構成を意識して見直しを行う。</p> <p>②広報紙制作支援(3,129千円) 編集業務の一部を委託し、効果的・効率的な編集体制を確保する。 (概要) 広報紙の編集業務は、企画、取材、文書製作、デザイン編集、校正と幅広い。これらに携わることで幅広い知識などを得るきっかけになっているが、事業者が行ったほうが効率性が高いと思われる一部の業務(デザイン編集)を委託する。令和3年10月号からの予定</p>
業務量の増減	<p>①200時間の増 ②1015時間の減(令和4年度以降は、毎年2130時間の減)</p>

市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)		<input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input type="checkbox"/> 協働					
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 ( 年度～ 年度 )					
予算額		金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	4,657					4,657
	総額						
	財源名称						
成果(活動)指標	指標(単位)	市役所からの情報発信に満足している割合					
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標値	73.0%	73.5%	74.0%	74.5%	75.0%	
	成果指標及び目標値の説明	紙面を見直すことで、市からの情報がより伝わりやすくなるため、市民意識調査の「市役所からの情報発信に満足している」割合を成果指標とした。 令和3年度は73%とし、令和7年度を75%とする。(令和元年度68.7%、平成30年度69.4%)					

## 評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>平成22年4月号から現在のデザインで発行している「広報ながさき」について、市民の情報ニーズに則した紙面構成やデザインの見直しを行うもの。</p> <p>また、広報紙の編集業務(企画、取材、文書製作、デザイン編集、校正等)のうち、デザイン編集業務を委託するものである。</p> <p>市民の情報ニーズに則した紙面構成とすることで、効果的な情報発信が可能となり、また、委託により業務の効率化が図られることから、事業の実施は適当である。</p> <p>ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。</p>	
【その他の意見】	
・編集業務の委託により、「広報ながさき」の編集スケジュールが前倒しとなることで、各所属に影響が大きいことから、十分周知を図ること。	